

# 水戸市における家計費の推移

最近における一般の消費生活は非常に盛んとなり、エンゲル係数も次第に低下して私たちの生活はやや安定してきたといえる。さきに総理府統計局から公表された『戦後10年の家計』を見ても分るようにエンゲル係数は全都市平均で昭和26年に51.7%、27年に48.3%、28年45%、29年45.5%、30年44.5%と年を追って低くなっている。その反面、住居費や医療費、理容費、教育費、交際費、教養文化費などが増加している。この傾向は私たち

の生活内容を見ても明かである。そのために家計費全体としてはかえって苦しくなつて来たようでもある。

水戸市においても昭和29年11月のエンゲル係数が約40.6%だったものが30年11月には40%に下つてきたのである。これは消費性向の高進とは別にしても相当の文化的水準に達したことを示している。

次に水戸市における臨時家計調査（6月、11月分）の結果を見ることにする。

水戸市における勤労者世帯1ヶ月間の収入と支出

（茨城県調査企画課調）

取 入	金 額(円)		支 出	金 額(円)	
	30年 6月	30年 11月		30年 6月	30年 11月
世帯人員数	4.60人	4.23人	世帯人員数	4.60人	4.23人
収入総額	44,282	34,829	支出総額	44,282	34,829
実収入総額	34,269	21,692	実支出総額	26,907	22,462
勤め先からの収入	32,630	18,154	消費支出総額	22,211	20,599
世帯主収入	29,157	16,903	飲食費	9,920	8,273
本業	—	16,838	穀類	3,653	2,851
定期	20,407	16,550	その他の飲食費	3,267	5,422
臨時	8,750	288	住居費	1,316	1,248
副業	—	65	先立費	998	1,088
妻の収入	3,473	533	被服費	2,892	3,608
その他の世帯員収入	—	718	その他の諸費	7,088	6,382
事業、内職収入	334	219	非消費支出総額	4,696	1,863
世帯主収入	—	35	勤労所得税	2,898	873
その他の世帯員収入	—	184	その他の税	602	356
その他の実収入	1,305	3,319	社会保障費	893	546
実収入以外の収入	3,258	6,196	その他非消費支出	—	88
前月からの繰越金	6,754	6,941	実支出以外の支出	9,009	7,388
現物総額	914	1,541	翌月への繰越金	8,361	4,979
			現物総額	914	1,541